

学校だより1月号

令和7年1月8日



仲之

新宿区立牛込仲之小学校

新たな目標や希望の実現を目指して

校長

明けましておめでとうございます。昨年、保護者や地域の皆様には、本校の教育活動に対して多大なご理解とご支援をいただきました。感謝申し上げます。本年も昨年同様、子供たちへの温かい見守りや励まし、力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年が終わり、令和7年がスタートしました。今年の干支は「巳（み）」です。「巳」という字は胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上に這い出す姿を表しているとも言われ、「起こる」や「始まる」などの意味があります。また、蛇は脱皮をすることから「復活」や「再生」を連想させます。今年こそは、ぜひ社会や経済が復活・再生し、景気が（実感として）よくなってくれるよう期待したいものです。

各ご家庭におかれましても、新しい年を迎えて、お子さんと「今年はこんな年にしたいね」とか「こんなことを頑張りたいね」など、いろいろな目標や希望を語り合ったことと思います。昨年1月号の巻頭言で、大谷翔平選手の目標達成シートについて書かせていただきましたが、新しい能力を獲得したり、才能を伸ばしたりするためには、それ相応の努力が必要です。年の初めに決意した目標や希望を実現させるために、計画をしっかりと立てて、日々の努力を惜しまず、自分の持っている力を十二分に発揮してほしいと願っています。

さて、学校にとっては、今日から3月までが「学年の締めくくり」となります。とりわけ6年生にとっては、小学校生活最後の3か月です。これまで最高学年として活躍してきた誇りと数々の牛込仲之小での思い出を胸に、笑顔で巣立ってほしいと願っています。

私達教職員は、子供たちが目標や希望を一つでも多く実現できるように、一人一人をしっかりと見つめ、頑張る背中を後押ししてあげたいと思っています。保護者や地域の皆様におかれましても、昨年同様、本年も本校の子供たちのためにご支援・ご協力の程を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

書き初め展

国語担当

新年を迎えたこの時期、日本全国では多くの小学校で、「書き初め」や「席書会」という行事を行っています。

書き初めは、1月2日に行うのが習わしで、この日に書くと、書道が上達するという言い伝えがあります。また、一年間の抱負や目標を定めるという意味もあります。

子供たちには、「書き初め」を体験することで、日本の伝統文化に触れ、その大切さに気付くことを願っています。

本校では、9日（木）から15日（水）まで、席書会を行います。各学年に合わせた目標を意識しながら、集中した空気の中で、文字を書くことの喜びと達成感を味わわせていきます。

席書会で書いた作品は、各教室の前の廊下に展示します。2月8日の学校公開にてぜひご覧ください。

日本語指導教室

日本語指導担当

本校では、外国からの転入生が多く、ほとんど日本語に触れたことがないまま入ってくる児童もいます。そのため、校内で日本語指導を行い、日本語の習得を図っています。

始めに、あいさつや曜日、数字など、日常生活に必要な言葉を学びます。絵カードを使って声に出して発音したり、簡単な会話をしたりして、言葉の意味や使い方を学習します。ひらがなやカタカナ、漢字の文字表記も覚えていきます。新しい言語を身に付けるには、多くのことを覚えなくてはならず、大変な努力を必要とします。少しでも楽しみながら学習できるよう、クロスワードや簡単なゲームなどの活動も取り入れながらすすめています。

また、学級の子供たちにも、言葉が分からないことの不安に気付かせ、温かい関係を築きながら、安心して学級で過ごせるよう働きかけています。

日本語を楽しく学び、先生や友達の話が分かって、授業に参加できるようになることを目指しています。

本校のホームページのQRコードです。ぜひ、アクセスして細かい情報、登校許可証のダウンロードなどにご活用ください。

